

平成 30 年 3 月 29 日

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会
国立大学法人運営費交付金等(学術研究関係)に関する作業部会

1. 第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の重点支援について

第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金(以下「運営費交付金」という。)については、各国立大学法人等の機能強化の方向性に応じた取組をきめ細かく支援するため、予算上、3つの枠組みを設けて重点支援を行うこととし、各国立大学法人等は、それぞれの機能強化の方向性や第3期中期目標期間を通じて特に取り組む内容を踏まえていずれかの枠組みを選択しています。

重点支援は、各法人から拠出された財源(「機能強化促進係数」に基づく金額を運営費交付金から拠出)を確保した上で、当該経費を評価に基づき再配分するものです。

●大学共同利用機関法人に係る3つの重点支援の枠組み

【重点支援①】

主として、大型装置等を用いて世界の学術研究の中核として国際協力・国際共同研究などにより先導的なモデルとなる研究システムの創出につながる研究力強化の取組を支援する。

【重点支援②】

主として、特定分野における大学共同利用機関を中核とする大学間連携やネットワーク形成による新たな学問分野の創成に資する取組など、大学の枠を越えた研究拠点を形成・強化する取組を支援する。

【重点支援③】

主として、大学全体の学術研究の基盤構築や運営等を効果的・効率的に推進する取組など、強み・特色ある分野の教育研究を基礎として大学全体を支える研究環境基盤を構築・強化する取組を支援する。

大学共同利用機関法人に係る平成30年度の運営費交付金の重点支援に当たっては、昨年度同様、各法人から提案のあった取組について、「国立大学法人運営費交付金等(学術研究関係)に関する作業部会」(以下、「作業部会」という)(名簿:別紙)の有識者による評価を行った上で配分することとしており、このたび、その評価結果を公表するものです。

2. 評価の対象

各法人から提案のあった「取組」を対象とする。

継続事業※継続事業とは、平成 28 年度または平成 29 年度から実施している取組

	組織整備		重点1		重点2		重点3		合計	
	取組数	指標件数	取組数	指標件数	取組数	指標件数	取組数	指標件数	取組数	指標件数
人間文化研究機構	2	20	2	14	4	36	1	4	9	74
自然科学研究機構	1	6	0	0	9	58	0	0	10	64
高エネルギー加速器研究機構	0	0	0	0	1	3	1	3	2	6
情報・システム研究機構	1	6	1	5	2	14	3	13	7	38
計	4	32	3	19	16	111	5	20	28	182

新規事業 ※新規事業とは、平成 30 年度概算要求において各法人から要望があり、予算化する予定の取組

	組織整備		重点1		重点2		重点3		合計	
	取組数	指標件数	取組数	指標件数	取組数	指標件数	取組数	指標件数	取組数	指標件数
人間文化研究機構	0	0	0	0	1	7	0	0	1	7
自然科学研究機構	1	9	0	0	0	0	0	0	1	9
高エネルギー加速器研究機構	0	0	0	0	1	3	1	4	2	7
情報・システム研究機構	0	0	0	0	0	0	2	10	2	10
計	1	9	0	0	2	10	3	14	6	33

3. 評価の観点

継続事業

継続事業の評価については、評価指標を活用して毎年度実施される取組実績等の進捗状況の確認及び昨年度の評価結果等を踏まえた各法人の評価指標(KPI)の実質化や取組内容の進展、改善状況について、以下の①～⑥の評価項目に基づき評価を実施する。

(1) 「平成28年度の評価指標(KPI)の進捗状況」に関する観点

- ①平成 28 年度時点における実績・現状を的確に把握しているか。
- ②設定された目標に向けて着実に進捗しているか。もしくは、着実に進捗していない(数値が減少している、変化が見られない)場合、今後の改善に向けた具体的な対応策が示されているか。
- ③自己評価の判断理由についての説明が適当であるか。

(2) 「昨年度の評価結果を踏まえた改善状況(評価指標(KPI)、取組)の確認」に関する観点

- ④評価指標(KPI)における昨年度の評価結果を踏まえた対応が適切であるか。
- ⑤取組における昨年度の評価結果を踏まえた対応が適切であるか。

(3) 「取組の総合的な進捗状況の確認」に関する観点

- ⑥取組が着実に進捗しているか。

新規事業

新規事業については、昨年度同様に、各法人が自ら改善・発展するためのPDCAサイクルを一層促進する観点から、以下の①～⑥の評価項目に基づき評価を実施する。

(1) 「評価指標(KPI)の実質化の状況の確認」に関する観点

- ①事後の客観的な検証が可能な「基準時点」及び「基準値等」が明確に示されているか。
- ②事後の客観的な検証が可能な「目標時点」及び「目標値等」が明確に示されているか。
- ③取組の達成状況を測る評価指標として適切であるか。
- ④目標時点や目標値等で示されている、取組の推進によって目指す成果等の水準について、これまでの実績や実現可能性も踏まえた「水準が妥当であるか」。

(2) 「取組内容の確認」に関する観点

- ⑤各法人の強み・特色を踏まえた、「第3期中期目標・中期計画との関係性が明確」な具体的な取組内容となっているか。
- ⑥選択した「機能強化促進分(重点支援)の枠組との関連性が明確」であり、枠組みに応じた具体的な取組内容となっているか。

4. 評価の実施方法

- (1) **継続事業**・**新規事業**ともに評価項目ごとの評価に際しては、各法人が作成した調書上で、各観点に沿った説明が客観的かつ明確にされているかどうかで判断する。

(2)客観的に説明が妥当であれば「A評定」、説明が不十分であれば「B評定」を付す二段階評価。

- ただし、**継続事業**の評価項目②については、以下のいずれかの条件に合致する場合は、「B+評定」を付す。
- ・平成28年度時点では、評価指標(KPI)の進捗状況が測定できず、具体的な数値等については、次年度以降に測定可能となっているもので、平成28年度は、その前段階の取組を行ったもの。
 - ・平成28年度の値が一見進捗しておらず、法人の自己分析において、次年度以降達成に向けた記載がされているものの、具体性や実効性が十分とは言えないもの。
 - ・毎年度一定の割合や一定の件数となることを評価指標(KPI)として設定しているものの中で、平成28年度時点の値は目標を下回っているが、今後の対応策が明確になっているもの。

(3)「特筆すべき点」(S 評価)の取扱いについては以下のとおり。

継続事業

評価項目②については、A評定となった評価指標のうち、以下のいずれかの条件に合致する場合は、「特筆すべき点」として評価に反映(S評定)させる。

- ・昨年度の評価において「特筆すべき評価指標」として、選定された指標が著しく進捗している場合。
- ・評価指標の見直しにより、昨年度の特筆すべき評価指標と同水準を目指す目標値を踏まえた改善がなされており、かつ著しく進捗している場合。
- ・その他、各種政府方針等を踏まえ、当該施策を強力に推進することに寄与する評価指標が著しく進捗している場合。

新規事業

評価項目③、④については、A評定となった評価指標のうち、以下の条件に合致する場合は、「特筆すべき点」として評価に反映(S評定)させる。

- ・大学共同利用機関としての役割を果たし、大学全体の機能強化への貢献等の実績や成果を測る評価指標や取組のような、公表による他法人への波及効果が期待され、他法人のモデルとなり得る、特に意欲的な評価指標の設定や取組状況が認められる場合。

5. 評定の点数化及び「取組の評価結果」について

評価項目ごとの評点については、次のとおり点数化し、「取組の評価結果」として決定しました。

(1)各評価項目について、評価指標(KPI)ごとに評点(S、A、B+、B)を付して、次のとおり点数化。

【評価指標ごとの評価項目(①～④)】

S 評点※1	A 評点	B+評点※2	B 評点
5 点	3 点	2 点	1 点

※1 S 評点は継続事業については評価項目②のみ、新規事業については評価項目③、④のみ(継続・新規事業ともに該当なし)

※2 B+評点は継続事業の評価項目②のみ

【取組ごとの評価項目(⑤、⑥)】

A 評点	B 評点
3 点	1 点

(2)評価指標(KPI)ごとの評価項目【①～④】については、評価指標ごとの上記(1)の合計点数に各法人が一つの取組全体を100%として評価指標(KPI)ごとに割り振った「重要度※」を乗じて算出した上で、それを評価項目数で除して点数を算出。加えて、取組ごとの評価項目【⑤、⑥】についても、上記(1)の合計点数を評価項目数で除して算出。これらを合算して取組ごとの点数を算出。

A	6点(全ての評価項目がA評点)
B	6点未満4点以上
C	4点未満

※「重要度」は、取組の達成状況を測る上で、法人自身にとっての各評価指標の重要度を示すものとして各法人が設定するものであり、取組ごとに「100%」の数値が、取組の下に位置付けられた各評価指標(KPI)に割り振られている。

6. 評価結果一覧

各大学共同利用機関法人から提案のあった、**継続事業**取組数28、評価指標数182、**新規事業**取組数6、評価指標数33を対象として、上記「3. 評価の観点」に基づいて確認を行った結果は次のとおり。

【各重点の分類の指標ごとの評価結果】

継続事業

評価項目	組織整備				重点1				重点2				重点3			
	S	A	B+	B	S	A	B+	B	S	A	B+	B	S	A	B+	B
①平成28年度の実績・現状把握	—	32	—	0	—	17	—	0	—	109	—	0	—	20	—	0
②目標に向けた着実な進捗、改善に向けた対応方策	0	25	0	7	0	13	0	4	0	102	1	6	0	13	0	7
③自己評価の判断理由	—	25	—	7	—	13	—	4	—	103	—	6	—	13	—	7
④昨年度評価を踏まえたKPIの改善状況	—	2	—	0	—	2	—	0	—	13	—	0	—	4	—	0
⑤昨年度評価を踏まえた取組の改善状況	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑥取組の総合的な進捗状況	—	4	—	0	—	2	—	1	—	16	—	0	—	3	—	2

評価項目	合計							
	S	A	B+	B	S	A	B+	B
①平成28年度の実績・現状把握	—	—	178	100%	—	—	0	0%
②目標に向けた着実な進捗、改善に向けた対応方策	0	0%	153	86%	1	0.5%	24	13.5%
③自己評価の判断理由	—	—	154	86.5%	—	—	24	13.5%
④昨年度評価を踏まえたKPIの改善状況	—	—	21	100%	—	—	0	0%
⑤昨年度評価を踏まえた取組の改善状況	—	—	—	—	—	—	—	—
⑥取組の総合的な進捗状況	—	—	25	89.3%	—	—	3	10.7%

※評価指標数のうち、今年度評価対象外の指標が一部含まれている。

新規事業

評価項目	組織整備			重点1			重点2			重点3			合計					
	S	A	B	S	A	B	S	A	B	S	A	B	S	A	B			
①基準値等が明確か	—	9	0	—	0	0	—	10	0	—	14	0	—	—	33	100%	0	0%
②目標値等が明確か	—	9	0	—	0	0	—	10	0	—	14	0	—	—	33	100%	0	0%
③指標として適切か	0	9	0	0	0	0	0	10	0	0	14	0	0	0%	33	100%	0	0%
④水準の妥当性	0	9	0	0	0	0	0	10	0	0	13	1	0	0%	32	97.0%	1	3.1%
⑤中目・中計との関係	—	1	0	—	0	0	—	2	0	—	2	1	—	—	5	83.3%	1	16.7%
⑥3つの枠組みとの関連性	—	1	0	—	0	0	—	2	0	—	2	1	—	—	5	83.3%	1	16.7%

7. 評価結果の予算案への反映について

各法人から平成 30 年度概算要求があった取組について、作業部会における評価結果等を踏まえ、取組ごとの係数影響額の再配分の「基礎額」を算出し、「基礎額」に対して、評価結果に基づき以下の割合を乗算することで、取組ごとの再配分額を算出する。

【取組の評価結果再配分の割合】	(再配分率)
A:各取組の係数影響額の再配分の基礎額に対して	102%
B:各取組の係数影響額の再配分の基礎額に対して	90%
C:各取組の係数影響額の再配分の基礎額に対して	80%

第9期科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会
国立大学法人運営費交付金等（学術研究関係）に関する作業部会

委員名簿

(◎：主査、○：主査代理)

〔委員：1名〕

稲永 忍 長崎県公立大学法人理事長

〔臨時委員：1名〕

井野瀬 久美恵 甲南大学文学部教授

〔専門委員：5名〕

家 泰弘 日本学術振興会理事

○ 田中 隆治 星薬科大学長

豊田 長康 鈴鹿医療科学大学長

西村 いくこ 甲南大学理工学部教授、

日本学術振興会学術システム研究センター・副所長

◎ 松井 恒雄 中部大学全学共通教育部教授・部長

(敬称略、五十音順)

評価結果一覧(継続事業・組織整備)

事業実施主体	取組名	評価指標	重要度	基準時点	基準値	目標時点	実績値	目標値	実績値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果		
人間文化研究機構	新たな人文系国際共同研究システムを創出する「総合人間文化研究推進センター」の設置(H28～)	URBの配置によるプロジェクトマネジメント機能強化のための体制整備状況	15	平成27年度末	15人	基準時点以降毎年度	23人	毎年度20人以上		A	A	A				A		
		「若手研究者海外派遣プログラム」の実施状況	5	平成27年度末	0人	平成33年度末	5人	累計30人以上		A	A	A						
		基幹研究プロジェクトの推進に係る海外機関との連携状況	5	平成27年度末	0機関	平成33年度末	74機関	80機関以上		A	A	A						
		基幹研究プロジェクトに係る国際研究集会の開催状況	10	平成27年度末	0回	平成33年度末	14回	累計36回以上		A	A	A						
		リエゾン・オフィスの整備状況	10	平成27年度末	0箇所	平成33年度末	2箇所	6箇所以上		A	A	A						
		基幹研究プロジェクトに係る学際的な研究集会の開催状況	10	平成27年度末	0回	平成33年度末	99回	累計120回以上		A	A	A						
		基幹研究プロジェクトによる研究成果の活用状況	10	平成27年度末	0件	平成33年度末	26件	累計10件以上		A	A	A						
		基幹研究プロジェクトのPDCAサイクル構築・運用状況							機構外有識者による基幹研究プロジェクトの進捗管理に係る外部評価と当該評価結果の翌年次研究計画への反映を実施済		A	A	A					
		基幹研究プロジェクトの運用に対するアンケート調査の実施状況	5	平成27年度末	0回	プロジェクトの中間評価(30年度実施)及び最終評価(33年度実施)に併せて実施	2回	30年度実施に向けて準備中		A	B	B						
		「歴史文化資料の防災・減災に関する大学間ネットワーク」の構築状況	10	平成27年度末	未実施	平成33年度末	未実施	各地の歴史文化資料ネットワークの連携構築に向けて準備中		A	B	B						
		機構の機関の常勤研究者の科研費参加状況	10	平成27年度末	参加率69.3%	平成33年度末	参加率80%程度	参加率73.3%		A	A	A						
		機構が公開する「高度連携システム」のデータベースへのアクセス状況	5	平成27年度	120,000回	平成33年度末	基準時点の30%増	約148,000回		A	A	A						
		RDFで記述された「高度連携システム」のデータ件数	15	平成27年度	0件	平成33年度末	200万件	37万件		A	A	A						
		人文系サイエンスマップの運用状況							運用開始年度(平成31年度)7.02倍のアクセス数		A	B	B					
		インターネットメディアによる研究状況・成果の発信状況	10	平成27年度	年間6回	平成29年度以降毎年度	年間6回	170回		A	A	A						
メディア懇談会やプレスリリースによる研究状況・成果の成果発信状況	10	平成27年度	年間8回	平成33年度末	累計60回	6回		A	B	B								
マスメディアにおける共同研究関連記事取り上げ状況	10	平成27年度	年間3件	平成33年度末	累計60件	16件		A	A	A								
人文知コミュニケーション育成状況	10	平成27年度末	0人	平成33年度末	1名以上育成	0名		A	B	B								
一般書籍刊行を通じた社会に対する研究成果の還元状況	10	平成27年度末	716冊	平成33年度末	基準時点の30%増	139冊		A	B	B								
国内外でのシンポジウム等の開催を通じた社会に対する研究成果の還元状況	20	平成27年度	年間20件	基準時点以降毎年度	年間20件	94件		A	A	A								

事業実施主体	取組名	評価指標	重要度	基準時点	基準値	目標時点	目標値	実績値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果	
自然科学研究機構 アストロバイオロジー センター	新たな学問分野を創出するアストロバイオロジーセンターの整備 (H28～)	【系外惑星探査プロジェクト】 装置開発・実験・観測遂行状況（観測夜数）	15	平成27年度末	0	基準時点以降毎年度末	年間10夜以上	125夜	A	A	A					
		【宇宙生命探査プロジェクト】 装置開発・実験・観測遂行状況（観測夜数）	10	平成27年度末	0	基準時点以降毎年度末	年間5夜以上	19.5夜	A	A	A					
		【アストロバイオロジー装置開発室】 装置開発・実験・観測遂行状況（アストロバイオロジー研究のための装置開発に向けたマイルストーンの達成度） (A) ①すばる望遠鏡専用装置開発 ①製作 20% ②実装 50% ③観測 100% (B) 次世代観測装置の開発 ①概念設計 10% ②詳細設計 30% ③要素技術開発 50% ④開発 70% ⑤試験 90% ⑥試験 100%	15	平成27年度末	達成度 (A) 0% (B) 0%	平成33年度末	アストロバイオロジー研究のための装置開発に向けたマイルストーンの達成度 (A) 100% (B) 100%	(A) ①すばる望遠鏡専用装置の製作 20% (B) ①基本概念設計の完了 10%	A	B	A					
		【センター全体】 ①国際的顕微鏡ネットワークの構築（外国人研究者の招聘、外国人研究者の受け入れ等）	15	平成27年度末	外国人研究者の割合 11%	平成33年度末	外国人研究者の割合 20%	18%	A	A	A					
		【センター全体】 ③研究者人材の多様性、流動性確保の状況（外国人研究者の割合、フロンティアポイントメントの導入状況など）	15	平成27年度末	外国人・生物系アストロバイオロジー研究者の割合 11%	平成33年度末	外国人・生物系アストロバイオロジー研究者の割合 33%	27%	A	A	A					
		【センター全体】 ②国内外の関連コミュニティとの連携状況	30	平成27年度末	共同利用0件、若手研究者派遣0名	基準時点以降毎年度末	年間共同利用20件以上、年間若手研究者派遣9名程度	共同利用30件、若手研究者派遣国際学会派遣10名	A	A	A					
		機構に戦略企画本部を設置	40	平成27年度末	未実施	平成28年度	設置	戦略企画本部の設置【平成29年3月31日時点】	A	A	A					
		機構にデータサイエンス共同利用基盤施設を設置	20	平成27年度末	未実施	平成28年度	設置	データサイエンス共同利用基盤施設の設置【平成29年3月31日時点】	A	A	A					
		センターの設置数	20	平成27年度末	未実施	平成30年度	5センター以上	3センター【平成29年3月31日時点】	A	A	A					
		文理融合プロジェクトの実施数	5	平成27年度末	未実施	基準時点以降、毎年度	2テーマ以上	3テーマ【平成29年3月31日時点】	A	A	A					
未来投資型研究プログラムの実施数	5	平成27年度末	未実施	基準時点以降、毎年度	6テーマ以上	13テーマ【平成29年3月31日時点】	A	A	A							
・IP推進室による機構内外のデータ収集・分析数、それに基づく戦略提言数	10	平成28年度末	未実施	基準時点以降、毎年度	データ収集・分析数 30件以上 戦略提言数 5件以上	15件【平成29年7月31日時点】	A	A	A							

評価結果一覧(継続事業・重点支援①)

事業実施主体	取組名	評価指標	重要度	基準 時点	基準値	目標 時点	目標 時点	実績値	実績値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果		
人間文化研究機構 総合地球環境学研 究所	アジアの多様な自然・文化複合に 基づく未来可能社会の創発 (H28～)	1 多様な言語による研究成果発信冊数及び言語数	10	平成27年度末	第2期(6年間)で394冊 (英文107冊のうち英文 書4冊)、8言語	平成33年度末	第3期(6年間)で400冊 以上(英文110冊以上の うち英文書6冊以上)、 10言語以上	44冊 8言語(日本語・英語)	A	B	B							
		2 共著者の分野の数	10	平成27年度末	第2期(6年間)で11分野	平成33年度末	12分野以上	9分野	A	A	A							
		3 社会提言が反映された自治体による計画や条例制定件数	10	平成27年度末	第2期(6年間)で4件	平成33年度末	第3期4件以上	0件	A	B	B							
		4 大学を含む複数の機関と連携したネットワークの構築状況	10	平成27年度末	第2期(6年間)で7件	平成33年度末	第3期10件以上	2件	A	A	A							
		5 プロジェクト参加者状況	10	平成27年度末	第2期(6年間)で大学 314校1,459人、自治体 (県市町立博物館・研究 所含む)57団体80人、企 業24団体24人、NPOそ の他68団体77人	平成33年度末	大学320校1,900人以上 自治体(県市町立博物 館・研究所含む)60団体 90人以上、企業30団体 30人以上NPOその他75 団体90人以上	大学218校661人、公的 機関50団体83人、自治 体36団体53人、企業13 団体13人、民間(NPO・ その他)40団体60人	A	A	A							
		6 国際的認知度(ONCI)の順位 相対的引用度(ONCI)の順位	15	平成27年度末	第2期(6年間)で総合順 位55位 Environment/Ecology 13位 Geoscience 15位 Social science 8位	平成33年度末	総合順位52位以上 Environment/Ecology 10位以上 Geoscience 15位以上 Social science 32位 以上	総合順位56位 Environment/Ecology 36位、Geoscience 48 位、Social science 32位	A	B	B							
		7 論文の国際共著率	10	平成27年度末	第2期(6年間)で50%	平成33年度末	第3期60%		A	A	A							
		8 プロジェクト評価委員会の外部委員(15人)のうち海外委員 の人数	15	平成27年度	外部委員15人のうち海 外委員が過半数の8人	毎年度	海外委員は過半数以 上、かつ研究者以外の 委員を2人以上	外部委員16人のうち8人 が海外委員、研究者以 外が1人	A	B	B							
		9 外国人研究者(研究員含む)の数及び割合	10	平成27年度	平成27年度5人、10%	毎年度	平成28・29年度5人10% を維持、平成30年度以 降7人15%以上	6人(57人中)、10.6% 7人(57人中)	A	A	A							
		人間文化研究機構 国立民族学博物館	人々の文化資源に関するフナーク 人型情報ミュージアムの構築 (H28～)	国際共同研究プロジェクトを推進するための国際学術協定の締 結状況	20	平成27年度末	19件	平成33年度末	30件	18件	A	A	A					
公開したデータ・コンテンツ数	35			平成27年度末	0件	平成33年度末	46,000件 920,000レコード	8,990件 150,812レコード	A	A	A							
共同利用・共同研究に係る情報提供・発信状況・情報生成型 データベースの構築・運用等	30			平成27年度末	0件	平成33年度末	17件		3件	A	A	A						
国際的認知度(ONCI)の順位 相対的引用度(ONCI)の順位	5			平成27年度末	0名	平成33年度末	①72名 ②25名 ③48名		①72名 ②25名 ③48名	A	A	A						
プロジェクトレベルで外国人を含む外部評価の実施状況	10			平成27年度末	0件	平成33年度末	40件		8件	A	A	A						
①日本に要請されている役割(EISCAT_3D用送信機の開発と 10,000台製造・配備)を着実に進め、EISCAT_3D計画 の推進に貢献 【開発・配備(日本分担)の進捗度】	70			平成27年度末	未実施	平成29年度末	送信機の開発と製造・配 備(技術実証用)74台	平成33年度末	送信機の開発と製造・配 備(本格整備用)10,000 台	技術実証用送信機の開 発完了と10万台の製造 【平成28年7月末時点】	A	A	A					
②共同利用・共同研究により実施(公募)している研究や共同利 用・共同研究者の状況 【EISCAT共同研究参加者数・機関数】	-			平成27年度末	(現行EISCATレーダー 設備による実施状況) 公募研究課題数:13、共 同研究者数:国内30、海 外21、機関数:国内13、 海外10	平成33年度末	新たにEISCAT_3DLレ ーダーを加えた目標値) 公募研究課題数:20 共同研究者数:国内50、 海外30 機関数:国内20、海外15											
③国内外の関連コミュニティとの連携状況 【EISCAT国際・国内研究集会実施回数】	-			平成27年度末	国内研究集会:2、国際 研究集会:0	平成33年度末	国内研究集会:4 国際研究集会:1~2											
④国際プロジェクトへの参加状況や国際的な研究機関としての ベンチマーク 【EISCAT_3Dプロジェクト内各種会議・委員会等への 参加状況】	20			平成27年度末	EISCAT_3Dプロジェク ト内各種会議・委員会等: 4会議等	平成33年度末	EISCAT_3Dプロジェク ト内各種会議・委員会等: 9会議等											
⑤プロジェクトレベルで外国人を含む外部評価の実施状況 【EISCAT_3D用送信機等の設計製作段階における外部審査の 実施状況】	10			平成27年度末	送信機等の設計製作段 階における外部審査:0 回	平成30年度末	送信機等の設計製作段 階における外部審査:2 回											

評価結果一覧(継続事業・重点支援②)

事業実施主体	取組名	評価指標	重要度	基準時点	基準値	目標時点	目標値	実績値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果			
人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	総合科学の創成と日本歴史文化 に関する研究資源の共同利用基盤 構築 (H28～)	研究資源の共有化の機関数	20	平成27年度末	0機関	平成33年度末	18大学等研究機関	7機関	A	A	A				A			
		大学等の研究教育での活用状況	10	平成27年度末	0機関	平成33年度末	10大学等研究機関	3機関	A	A	A							
		研究成果の論文数	15	平成27年度末	0本	平成33年度末	150本	86本	A	A	A							
		研究刊行物を発刊	15	平成27年度末	0回	平成33年度末	6回	1回	A	A	A							
		研究成果報告に関するシンポジウムを開催	5	平成27年度末	0回	平成33年度末	6回	1回	A	A	A							
		国際学会・シンポジウム等における発表件数	10	平成27年度末	0件	平成33年度末	20件	4件	A	A	A							
		HPIによる研究情報の発信数	5	平成27年度末	0回	平成33年度末	42回	18回	A	A	A							
		異分野連携・融合による研究推進のための共同研究公募数	20	平成27年度末	0件	平成33年度末	公募研究を18件	2件	A	B	B							
		人間文化研究機構 国立国語研究所	多様な言語資源に基づき総合的日 本語研究の開拓 (H28～)	言語資源及び研究データベースの開発・公開数	15	平成27年度末	0件	基準時以降毎年度	H28年度～ H30年度 毎年2件 H31年度 7件 H32年度 2件 H33年度 7件	9件	A	A	A					A
				共同利用・共同研究から得られた成果の発信 (国際出版)	15	平成27年度末	0件	平成33年度末	合計6件	2件	A	A	A					
国際シンポジウムの開催	10			平成27年度末	0件	基準時以降毎年度	年1件以上	2件	A	A	A							
基幹研究参加機関数	10			平成27年度末	0件	基準時以降毎年度	H28～30は125機関 H31～33は140機関	187機関	A	A	A							
共同研究員数	10			平成27年度末	0件	基準時以降毎年度	H28～29は350名 H30～33は400名	382名	A	A	A							
公募型共同研究の実施	10			平成27年度末	0件	基準時以降毎年度	年間0件	8件	A	A	A							
専門家向け公開研究会の実施	10			平成27年度末	0件	基準時以降毎年度	年25件	36件	A	A	A							
一般向け公開講演会の開催	10			平成27年度末	0件	基準時以降毎年度	年1件	1件	A	A	A							
「言語資源と言語分析」ワークショップ(仮)の実施	5			平成27年度末	0件	基準時以降毎年度	年1件	1件	A	A	A							
一般及び専門家向け講習会・セミナー等の実施	5			平成27年度末	0件	基準時以降毎年度	年3件以上	3件	A	A	A							

事業実施主体	取組名	評価指標	重要度	基準時点	基準値	目標時点	目標値	実績値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果			
人間文化研究機構 国際日本文化研究センター	大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出 (H28～)	外国人研究員の受入	10	平成27年度末	未実施	平成27年度末	90名以上	14名	A	B	B							
		大学等研究機関との学術交流協定の締結	10	平成27年度末	未実施	平成33年度末	5機関以上	3機関	A	A	A							
		国際シンポジウムの開催	5	平成27年度末	未実施	平成33年度末	2回以上	1回	A	A	A							
		国内外の日本研究に関する学会参加・発表	10	平成27年度末	未実施	平成33年度末	180名以上	65名	A	A	A							
		研究叢書の公刊	10	平成27年度末	未実施	平成33年度末	4巻以上	0巻	A	B	B							
		学術誌等への論文発表	10	平成27年度末	未実施	平成33年度末	150本以上	49本	A	A	A							
		国内外の日本研究に関する学会参加・発表	10	平成27年度末	未実施	平成33年度末	180名以上	41名(機関内専任教員) 24名(機関内研究員)	A	A	A							
		他機関共同研究者の共同研究への参画	10	平成27年度末	未実施	平成33年度末	1,500名以上	634名	A	A	A							
		公募による共同研究の実施	10	平成27年度末	未実施	平成33年度末	18件以上	4件	A	A	A							
		教育・研究プログラムの提供	15	平成27年度末	未実施	平成33年度末	200機関(国内100機関、海外100機関)以上	0機関	A	B	B							
		人間文化研究機構	人間文化研究機構における博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化 (H29～)	新領域創成型の展示の開催状況	30	平成28年度末	未実施	平成33年度末	7回	2回 【29年8月時点】	A	A	A					
				大学研究教育における博物館展示の利用状況	25	平成27年度末	年間100大学 延べ4,500人	平成33年度末	年間130大学 延べ5,000人	206大学、6,213人 【29年7月時点】	A	A	A					
				HPでの情報発信	10	平成28年度末	未実施	平成33年度末	年間12回以上	8回 【29年8月時点】	A	A	A					
				可搬型展示コンテンツ利用	5	平成28年度末	未実施	平成33年度末	年間30,000人	4,893人 【29年9月時点】	A	A	A					
				方言データベースの公開状況	5	平成28年度末	未実施	平成33年度末	5件	6件(年度内に2件追加 予定) 【29年8月時点】	A	A	A					
他機関・学会との連携状況	10			平成28年度末	未実施	平成33年度末	20件以上	0件(年度内に4件締結 予定) 【29年8月時点】	A	A	A							
新領域創成に向けた学術誌刊行状況	5			平成28年度末	未実施	平成33年度末	4年間合計で4回	0回(30年度末の刊行予 定) 【29年8月時点】	A	A	A							
研究者・市民とのフォーラムの開催状況	10			平成28年度末	未実施	平成33年度末	3年間合計で9回	2回 【29年8月時点】	A	A	A							
自然科学研究機構	大学との連携による異分野融合・新分野創成を風靡えた自然科学研究拠点の形成・強化 (H28～)			分野融合型研究の推進のための共同研究採択件数	30	平成27年度末	0件	平成33年度末	5年で延べ15件以上	8件	A	A	A					
				自然科学研究機構におけるR&D推進体制に向けた検討会の開催回数	10	平成27年度末	年間1回	基準時点以降毎年度末	年間5回以上	年間4回	A	A	A					
		NICAの創設及びUNICAへの大学等の参加及び運用状況(参加大学数)	20	平成27年度末	参加大学0件	平成33年度末	参加大学10件以上	12件	A	A	A							
		NOUSを活用した共同利用・共同研究に関する情報発信回数	10	平成27年度末	0件	NOUS構築後、毎年度末	年1回以上	年0回	A	A	A							
		NICAにおける大学等組織連携の位置づけを確認するための連携構築状況と課題等についての検討状況(NICA開催回数)	30	平成27年度末	0回	基準時点以降毎年度末	年1回以上	年1回	A	A	A							
		人材育成に関するプログラムや研修会等の実施状況(関連プログラム実施件数)	10	平成27年度末	関連プログラム1件	基準時点以降毎年度末	関連プログラム2件以上	6件	A	A	A							
		国際的なシンポジウムの開催回数	20	平成27年度末	年間1回	基準時点以降毎年度末	年間2回以上	年間2回	A	A	A							
		共同利用・共同研究数	30	平成27年度末	年間35件	平成33年度末	年間53件以上	年間41件	A	A	A							
		国際的な協定や共同利用・共同研究等において関係する国際的な機関数	20	平成27年度末	10機関	平成33年度末	20機関以上	31機関	A	A	A							
		国内外の大学及び研究機関等とのセミナーや研究会等の実施回数	20	平成27年度末	年間5回	基準時点以降毎年度末	年間6回以上	年間10回	A	A	A							

事業実施主体	取組名	評価指標	重要度	基準時点	基準値	目標時点	実績値	実績値	実績値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果		
自然科学研究機構 新分野創成センター	新分野の創成 (H28～)	融合発展後の「新分野」及び主要研究課題並びにセンターの組織・運営方法及び事業内容等の検討を行う会議の実施回数	30	平成27年度末	0回	平成29年度末	4回以上/年	【平成29年3月31日時点】 5回	A	A	A	A	A	A	A	A B		
		関連コミュニケーションからのセンターの認知及び支援・協力体制の構築	10	平成27年度末	0	平成29年度末	生物科学学会連合加盟 0団体(平成28年度は該 団体の過半数からのセ ンターの認知及び支援・ 協力体制の構築 具体化を完了)	【平成29年3月31日時点】 0団体	A	A	A	A	A	A	A			
		次世代の新分野となり得る研究活動の探査及びその初期的研究成果の評価	10	平成27年度末	1研究グループ	平成33年度末	20研究グループ	【平成29年3月31日時点】 6研究グループ(分野) 1分野	A	A	A	A	A	A	A			
		萌芽的分野の支援	10	平成27年度末	0分野	平成33年度末	4分野	【平成29年3月31日時点】 1分野	A	A	A	A	A	A	A			
		IRに基づく異分野融合・新分野創成の探査方法及び進展度の測定方法等の開発に向けたマイルストーンの達成度: ①構想設計 10% ②基本設計 30% ③実業技術の開発 50% ④開発 70% ⑤検証・改善 90% ⑥実業 100%	10	平成27年度末	0%	平成33年度末	IRに基づく異分野融合・ 新分野創成の探査方法及 び進展度の測定方法 等の開発に係る進捗率 100%	【平成29年3月31日時点】 進捗率10%	A	B	B	A	A	A	A		A	
		ブレインサイエンス研究分野及びイメージングサイエンス研究分野における公募プロジェクト・各種シンポジウム等の実施回数	10	平成27年度末	19件	平成29年度末	19件以上/年	【平成29年3月31日時点】 19件	A	A	A	A	A	A	A		A	
		新分野探索室における異分野融合・新分野創成(萌芽的分野)を推進するための外部研究者の参加数	10	平成27年度末	0人/0分野	平成33年度末	20人以上/4分野	【平成29年3月31日時点】 3人/1分野	A	A	A	A	A	A	A		A	
		プラズマバイオ研究分野及び先端光科学研究分野におけるワークショップ等の開催回数	10	平成28年度末	0回	平成33年度末	4回以上/年	【平成29年7月31日時点】 1回	A	A	A	A	A	A	A		A	
		プラズマバイオ研究分野及び先端光科学研究分野の研究実施回数	-	平成29年度末	0件	平成33年度末	15件以上/年	-	-	-	-	-	-	-	-		-	A
		プラズマバイオ研究分野及び先端光科学研究分野における共同研究参加者数	-	平成29年度末	0人	平成33年度末	45人以上/年	-	-	-	-	-	-	-	-		-	A
		重力量源等の実装天体を観測するための連携観測実施(実施回数)	30	平成27年度末	5回	基準時点以降毎年度末	年間5回以上	12回	A	A	A	A	A	A	A		A	
		マルチメッセンジャー-天文学研究拠点構築(マルチメッセンジャー-天文学推進室設置回数)	20	平成27年度末	0機関	平成33年度末	5機関以上	0機関	A	A	A	A	A	A	A		A	
		大学間連携の促進(観測協力参加機関数)	10	平成27年度末	9機関	平成33年度末	9機関以上	11機関	A	A	A	A	A	A	A		A	
大学の研究力強化及び人材育成への貢献(論文数)	10	平成27年度末	4編	基準時点以降毎年度末	年間10編以上	24編	A	A	A	A	A	A	A	A				
大学の研究力強化及び人材育成への貢献(論文の被引用件数)	5	平成27年度末	16件	基準時点以降毎年度末	年間30件以上	194件	A	A	A	A	A	A	A	A				
大学の研究力強化及び人材育成への貢献(学会発表数)	5	平成27年度末	7件	基準時点以降毎年度末	年間10件以上	14件	A	A	A	A	A	A	A	A				
大学の研究力強化及び人材育成への貢献(観測実習参加学生数)	5	平成27年度末	5人	基準時点以降毎年度末	年間10人以上	4人	A	B+	A	A	A	A	A	A				
大学の研究力強化及び人材育成への貢献(連携大学による科研費獲得件数)	5	平成27年度末	3件	基準時点以降毎年度末	年間3件以上	3件	A	A	A	A	A	A	A	A				
ネットワーク形成状況(連携観測参加教員数)	10	平成27年度末	15人	平成33年度末	年間20人以上	21人	A	A	A	A	A	A	A	A	A			

事業実施主体	取組名	評価指標	重要度	基準時点	基準値	実績値	目標時点	目標値	実績値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果
自然科学研究機構 基礎生物学研究所	大学連携ハイパリアクティブロ ジェクト (H26~)	大学サテライト7拠点との連携強化による生物遺伝資源のバツ クアップ保管件数	50	平成27年度末	バックアップ保管件数 計1322件	バックアップ保管件数 計162件(うち3件は保管完 了)	平成33年度末	バックアップ保管件数 計213件程度	162件(うち3件は保管完 了)	A	A	A	A	A	A	A
		凍結保存カンファレンスの定期開催件数	5	平成27年度末	1回/年	1回	平成33年度末	取組実施期間合計6回	1回	A	A	A	A	A	A	
		新築生物遺伝資源保存技術開発共同利用研究の成果を中心と した保存技術講習会の開催件数	5	平成27年度末	4回/年	4回	平成33年度末	取組実施期間合計24回	4回	A	A	A	A	A	A	
		学際分野の広がりや異分野間の連携推進状況、他機 関・関連学会への協力状況(本事業に関する広報活動(パンフ レット、HP、宇案でのプレス展示)回数)	15	平成27年度末	5回/年	5回	平成33年度末	取組実施期間合計30回	22回	A	A	A	A	A	A	
		萌芽(ぼうが)的研究テーマ発掘の取組状況(共同利用実施件 数)	15	平成27年度末	9課題/年	9課題	平成33年度末	取組実施期間合計60課 題	12課題	A	A	A	A	A	A	
		異分野融合・新分野創成を推進するための、組織の枠を超えた 実効的な体制の整備・運用状況(利用者の所属機関の増加率)	10	平成27年度末	33機関	33機関	平成33年度末	利用者所属機関数43機 関	41機関	A	A	A	A	A	A	
		新築モデル生物開発の共同利用研究及び国際共同研究の実 施件数	50	平成27年度末	4課題	4課題	平成33年度末	取組実施期間合計24課 題	6課題	A	A	A	A	A	A	
		新築モデル生物に関する技術講習会の定期開催件数	15	平成27年度末	1回/年	1回	平成33年度末	取組実施期間合計6回	1回	A	A	A	A	A	A	
		学際分野の広がりや異分野間の連携推進状況、他機 関・関連学会への協力状況(新規モデル生物開発関連の研究 会開催件数)	15	平成27年度末	1回/年	1回	平成33年度末	取組実施期間合計6回	2回	A	A	A	A	A	A	
		萌芽(ぼうが)的研究テーマ発掘の取組状況(遺伝子発現解析を 行う新しい生物種件数)	10	平成27年度末	1件	1件	平成33年度末	取組実施期間合計6件	4件	A	A	A	A	A	A	
自然科学研究機構 生化学研究所	超高温超圧気相共通画像認識基盤を用い た双方向型連携研究によるヒト高 次脳機能の解明 (H28~)	異分野融合・新分野創成を推進するための、組織の枠を超えた 実効的な体制の整備・運用状況(外部研究者との意見交換会の 開催件数)	10	平成27年度末	1回	1回	平成33年度末	取組実施期間合計6回	1回	A	A	A	A	A	A	A
		研究会開催状況(MRI研究会開催件数)	10	平成27年度末	1回/年	1回	平成33年度末	取組実施期間合計6回	2回	A	A	A	A	A		
		研究者受入状況(外国人客員教授受入人数)	10	平成27年度末	1名/年	1名	平成33年度末	取組実施期間合計6名	1名	A	A	A	A	A		
		共同利用・共同研究により実施(公募)している研究や共同利 用・共同研究者の状況(MRIを用いた共同利用研究件数)	30	平成27年度末	19件/年	19件	平成33年度末	取組実施期間合計120 件	21件	A	A	A	A	A		
		多様な産学官連携推進への貢献状況(MRIメーカー等へ研究者 派遣人数)	10	平成27年度末	0名	0名	平成33年度末	取組実施期間合計6名	2名	A	A	A	A	A		
		大学院教育の推進、協力を通じた人材育成への寄与状況(大 学院生受入人数)	10	平成27年度末	1名/年	1名	平成33年度末	取組実施期間合計6-12 名	3名	A	A	A	A	A		
		大学の枠を超えた人材や資源活用のネットワーク形成状況 (MRIトレーニングコース参加人数)	30	平成27年度末	40名/年	40名	平成33年度末	取組実施期間合計240 名	43名	A	A	A	A	A		
		CiMoSセミナー(アイデア・シーズ発掘とブレインストーミング)及 び技術講習会の開催件数	12	平成27年度末	平成26~平成27年度の 合計 6件	6件	平成33年度末	取組実施期間合計 12件	5件	A	A	A	A	A		
		オープンスペース利用状況(他機関からの研究者の利用数)	12	平成27年度末	平成26~平成27年度の 合計 (国内)77件 (海外)11件	11件	平成33年度末	取組実施期間合計 (国内)150件 (海外)30件	(国内)80件 (海外)15件	A	A	A	A	A		
		分子システムの最適化・探索支援状況(大学・研究機関への支 援件数)	16	平成27年度末	平成25~平成27年度の 合計 0件	0件	平成33年度末	取組実施期間合計 20件	4件	A	A	A	A	A		
自然科学研究機構 分子科学研究所	卓越した構想をもつ分子系の創成 ー 成ー 基礎的分子系の研究センター形 成 (H28~)	学際分野の広がりや異分野間の連携推進状況、他機 関・関連学会への協力状況(大学等との共同研究件数)	20	平成27年度末	平成25~平成27年度の 合計 73件	73件	平成33年度末	取組実施期間合計 150件	61件	A	A	A	A	A	A	A
		萌芽(ぼうが)的研究テーマ発掘の取組状況(CiMoSセミナー及 び技術講習会実施件数)	20	平成27年度末	平成26~平成27年度の 合計 6件	6件	平成33年度末	取組実施期間合計 12件	5件	A	A	A	A	A		
		異分野融合・新分野創成を推進するための、組織の枠を超えた 実効的な体制の整備・運用状況(CiMoSセミナー及び技術講習 会実施件数)	10	平成27年度末	平成26~平成27年度の 合計 6件	6件	平成33年度末	取組実施期間合計 12件	5件	A	A	A	A	A		
		異分野融合・新分野創成を推進するための、組織の枠を超えた 実効的な体制の整備・運用状況(他機関からの研究者の利用数)	10	平成27年度末	平成26~平成27年度の 合計 (国内)77件 (海外)11件	11件	平成33年度末	取組実施期間合計 (国内)150件 (海外)30件	(国内)80件 (海外)15件	A	A	A	A	A		
		共同利用・共同研究により実施(公募)している研究や共同利 用・共同研究者の状況(MRIを用いた共同利用研究件数)	30	平成27年度末	19件/年	19件	平成33年度末	取組実施期間合計120 件	21件	A	A	A	A	A		
		多様な産学官連携推進への貢献状況(MRIメーカー等へ研究者 派遣人数)	10	平成27年度末	0名	0名	平成33年度末	取組実施期間合計6名	2名	A	A	A	A	A		
		大学院教育の推進、協力を通じた人材育成への寄与状況(大 学院生受入人数)	10	平成27年度末	1名/年	1名	平成33年度末	取組実施期間合計6-12 名	3名	A	A	A	A	A		
		大学の枠を超えた人材や資源活用のネットワーク形成状況 (MRIトレーニングコース参加人数)	30	平成27年度末	40名/年	40名	平成33年度末	取組実施期間合計240 名	43名	A	A	A	A	A		
		CiMoSセミナー(アイデア・シーズ発掘とブレインストーミング)及 び技術講習会の開催件数	12	平成27年度末	平成26~平成27年度の 合計 6件	6件	平成33年度末	取組実施期間合計 12件	5件	A	A	A	A	A		
		オープンスペース利用状況(他機関からの研究者の利用数)	12	平成27年度末	平成26~平成27年度の 合計 (国内)77件 (海外)11件	11件	平成33年度末	取組実施期間合計 (国内)150件 (海外)30件	(国内)80件 (海外)15件	A	A	A	A	A		

事業実施主体	取組名	評価指標	重要度	基準時点	基準値	目標時点	目標値	実績値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果
自然科学研究所 分子科学研究所	新しい分子野を開拓するメソッド ビッグデータ解析の形成 (H20～)	メソッドビッグデータ解析に関する研究会(新計測法に関するアイデアの発掘、可能性、将来構想等の議論)、及び関連研究分野における国際的に第一線の研究者によるセミナーの開催件数	20	平成28年度末	0件	平成33年度末	取組実施期間合計 10件	2件	A	A	A				
		メソッドビッグデータ解析に関する技術コース、チュートリアル等の開催件数	20	平成28年度末	0件	平成33年度末	取組実施期間合計 4件	0件	A	A	A				
		共同利用・共同研究件数	20	平成28年度末	0件	平成33年度末	取組実施期間合計 50件	26件	A	A	A				
		他大学への教職員等の派遣件数	20	平成28年度末	0件	平成33年度末	取組実施期間合計 100件	22件	A	A	A				
		種々の研究テーマ発掘の取組状況(新計測法に関するアイデアの発掘、可能性、将来構想を議論する研究会の開催件数)	20	平成28年度末	0件	平成33年度末	取組実施期間合計 5件	0件	A	A	A				
高エネルギー加速器 研究機構	連携プラットフォーム共同構築による TIA機能強化 (H28～)	・TIA連携プログラム探索推進事業「かけはし」実施 ・TIA5研究機関共同「駅前オフィス」開設	60	平成27年度末	真大加入前のTIA-mano 組織と連携取組	平成30年度末	本取組による新規連携 プラットフォームの協働組織 立上完了	「かけはし」実施体制設 立 ・「駅前オフィス」開設 ・TIA連携企画チームと TIA広域チームの設立 【平成29年3月31日時 点】	A	A	A				
		TIA連携による登録論文数	20	平成27年度末	年間10報	平成30年度末	年間15報	11報 【平成29年3月31日時 点】	A	B	A				
		民間等との共同研究課題数・施設利用課題数	20	平成27年度末	年間合計10件	平成30年度末	年間合計25件	22件 【平成29年3月31日時 点】	A	A	A				
		ゲノムデータ解析支援の件数	15	平成27年度末	未実施	平成33年度末	18件以上	13件 【平成29年3月31日時 点】	A	A	A				
		データ融合計算支援における相談・協働作業の件数	15	平成27年度末	未実施	平成33年度末	6件以上	5件 【平成29年3月31日時 点】	A	A	A				
情報・システム研究 機構	大学におけるデータ駆動型学術研 究力強化のための共同利用推進 事業 (H20～)	生命科学分野におけるデータベース統合化の支援対象としている機関の数	15	平成27年度末	7機関	平成33年度末	5割増加(11機関)	10機関 【平成29年3月31日時 点】	A	A	A				
		人間社会分野における構造化データ利用のためのコンソーシアムの登録組織数	8	平成27年度末	未実施	平成33年度末	20組織以上	5組織 【平成29年3月31日時 点】	A	A	A				
		MOU締結機関から博士/修士課程在学中の学生をインターン生として受け入れる人数	5	平成27年度末	未実施	基準時点以降、毎年度	10名以上	23名 【平成29年3月31日時 点】	A	A	A				
		権威環境関連統合データベースからアクセス可能なデータデータベース数	15	平成28年度末	未実施	平成33年度末	12	未実施 【平成29年7月31日時 点】 【平成29年度2件実施予 定】	A	A	A				
		社会データ構造化データベースの公開件数等(詳細集計表の一般公開、共同研究者等との個票レベルのデータの共有活用を含む)	7	平成28年度末	未実施	平成33年度末	18件以上	未実施 【平成29年3月31日時 点】 【平成29年度3件実 施予定】	A	A	A				
事業実施主体	生命科学分野におけるデータベース統合化のための登録DBの数(NBDCのRDFポータルで公開されるDBの件数)	生命科学分野におけるデータベース統合化のための登録DBの数(NBDCのRDFポータルで公開されるDBの件数)	5	平成27年度末	10	平成33年度末	20	12 【平成29年3月31日時 点】	A	A	A				
		人文学オープンデータの公開件数等	15	平成28年度末	未実施	平成33年度末	10件以上	未実施 【平成29年3月31日時 点】 【平成29年度2件実 施予定】	A	A	A				

事業実施主体	取組名	評価指標	重要度	基準時点	基準値	目標時点	目標値	実績値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果		
情報・システム研究機構 統計数理研究所	健康科学分野における大学等との連携ネットワーク形成に基づく統計教育者人材育成および研究・専門性の強化 (1/29～)	設置コース数と参加者数の両方による評価	20	平成27年度末	0	平成30年度以降、毎年度	①4コースの設置、②総参加者20名程度	平成29年度は準備期間のための実施【平成29年7月末時点】	A	A	A					A	
		医学・医療分野に特化した統計公開講座の開催	10	平成27年度末	0	平成30年度以降、毎年度	年6回、1回あたり1-3日	平成29年度は関連講座を7、特化講座を2開催【平成29年7月末時点】	A	A	A						
		共用教材クラウドサーバーおよびe-ラーニングの利用総数	30	平成27年度末	0	平成33年度末	10組織		平成29年度は教材開発期間のため利用総数0【平成29年7月末時点】	A	A	A					
		健康科学領域における全国大学研究者ネットワークの活動実績件数として全体シンポジウムと専門分科会の開催数	20	平成27年度末	年1回	平成33年度末	①通算10回、②分科会1度以上		平成29年度は実施【平成29年7月末時点】	A	A	A					
		統計専門人材育成ネットワークへの参加総数	20	平成27年度末	0	平成33年度末	15組織		平成29年度は実施【平成29年7月末時点】	A	A	A					

評価結果一覧(継続事業・重点支援③)

事業実施主体	取組名	評価指標	重要度	基準時点	基準値	目標時点	実績値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果			
人間文化研究機構 国立国語研究所	日本語言語資源の包括的高次元 回利用環境の整備 (H28～)	日本語言語資源の包括検索環境の整備	55	平成25年 4月	0語	平成33年度末	H33年度までに下記の年次計画に基づき、日本語言語資源の包括的検索環境の整備を完了する。 (年次計画) H28年度: 『日本語話し言葉コーパス』の短単位形態論情報の仕様を『現代日本語書き言葉均衡コーパス』に統一 『日本語コーパス』に短単位形態論情報を付与 H29年度: 包括検索用インターフェースの開発 『日本語話し言葉コーパス』の包括的検索環境の整備開始 H30年度: 『日本語話し言葉コーパス』の短単位形態論情報の付与 『日本語話し言葉コーパス』の包括的検索環境の整備完了 H31年度: 『日本語話し言葉コーパス』の短単位形態論情報の付与 『日本語話し言葉コーパス』の包括的検索環境の整備完了 H32年度: 『日本語話し言葉コーパス』の短単位形態論情報の付与 『日本語話し言葉コーパス』の包括的検索環境の整備完了 H33年度: 『日本語話し言葉コーパス』の短単位形態論情報の付与 『日本語話し言葉コーパス』の包括的検索環境の整備完了	A	A	A	A	A	A	A			
				平成27年度末	0語	平成33年度末	910語	910語	910語	A	A	A	A	A	A		
高エネルギー加速器 研究機構 物質構造科学研 究所	放射光施設ビームラインを活用した産業界等におけるイノベーション 創出の推進 (H29～)	Unde拡張版の整備・公開 (新語の追加)	25	平成27年度末	0語	平成33年度末	5,000語	5,000語	5,000語	5,000語	5,000語	5,000語	5,000語	A			
				平成27年度末	0語	平成33年度末	910語	910語	910語	A	A	A	A	A	A		
高エネルギー加速器 研究機構 物質構造科学研 究所	放射光施設ビームラインを活用した産業界等におけるイノベーション 創出の推進 (H29～)	検索手法等に関する講習会の開催件数、参加者数	10	平成27年度末	0回	平成33年度末	6年間合計18回 参加者180名	6年間合計18回 参加者180名	6年間合計18回 参加者180名	6年間合計18回 参加者180名	6年間合計18回 参加者180名	6年間合計18回 参加者180名	6年間合計18回 参加者180名	6年間合計18回 参加者180名	A		
				平成27年度末	0回	平成33年度末	年間3日 発表件数40件/3日 参加者のべ300名/3日	年間3日 発表件数40件/3日 参加者のべ300名/3日	年間3日 発表件数40件/3日 参加者のべ300名/3日	年間3日 発表件数40件/3日 参加者のべ300名/3日	年間3日 発表件数40件/3日 参加者のべ300名/3日	年間3日 発表件数40件/3日 参加者のべ300名/3日	年間3日 発表件数40件/3日 参加者のべ300名/3日	年間3日 発表件数40件/3日 参加者のべ300名/3日	年間3日 発表件数40件/3日 参加者のべ300名/3日	A	
				平成27年度末	15件/年	平成31年度末	20件/年	平成31年度末	20件/年	平成31年度末	20件/年	平成31年度末	20件/年	平成31年度末	20件/年	平成31年度末	A
				平成27年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	A
				平成27年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	A
高エネルギー加速器 研究機構 物質構造科学研 究所	放射光施設ビームラインを活用した産業界等におけるイノベーション 創出の推進 (H29～)	博士論文登録数	20	平成27年度末	15件/年	平成31年度末	20件/年	平成31年度末	20件/年	平成31年度末	20件/年	平成31年度末	20件/年	A			
				平成27年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	A	
高エネルギー加速器 研究機構 物質構造科学研 究所	放射光施設ビームラインを活用した産業界等におけるイノベーション 創出の推進 (H29～)	民間等との共同研究課題数・施設利用課題数	30	平成27年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	A			
				平成27年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	A	
高エネルギー加速器 研究機構 物質構造科学研 究所	放射光施設ビームラインを活用した産業界等におけるイノベーション 創出の推進 (H29～)	回折測定自動化・高効率化のための装置検出器整備 ・X線分光測定高効率化のための装置検出器整備	50	平成27年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	A			
				平成27年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	A	
高エネルギー加速器 研究機構 物質構造科学研 究所	放射光施設ビームラインを活用した産業界等におけるイノベーション 創出の推進 (H29～)	博士論文登録数	20	平成27年度末	15件/年	平成31年度末	20件/年	平成31年度末	20件/年	平成31年度末	20件/年	平成31年度末	20件/年	A			
				平成27年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	A	
高エネルギー加速器 研究機構 物質構造科学研 究所	放射光施設ビームラインを活用した産業界等におけるイノベーション 創出の推進 (H29～)	民間等との共同研究課題数・施設利用課題数	30	平成27年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	平成31年度末	各20件/年	A			
				平成27年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	A	
高エネルギー加速器 研究機構 物質構造科学研 究所	放射光施設ビームラインを活用した産業界等におけるイノベーション 創出の推進 (H29～)	回折測定自動化・高効率化のための装置検出器整備 ・X線分光測定高効率化のための装置検出器整備	50	平成27年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	A			
				平成27年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	平成31年度末	未着手	A	

事業実施主体	取組名	評価指標	重要度	基準時点	基準値	目標時点	目標値	実績値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果
情報システム研究 機構 国立情報学研究所	大学間連携に基づく情報セキュリティ体制の基盤構築 →サイバー攻撃検知能力強化と橋渡し人材の育成 (H28～)	サイバーセキュリティ監視環境の構築(サイバーセキュリティの研究センターの設置)	20	平成27年度末	未実施	平成28年度末	組織を設置すること	サイバーセキュリティの研究センターの設置 【平成29年3月31日時点】	A	A	A				
		サイバーセキュリティ監視環境の構築(研究基盤の構築状況など)	30	平成27年度末	未実施	平成33年度末	・本事業参加の国立大学に対する24時間365日間の監視体制構築 ・サイバー攻撃検知から15分以内に攻撃先への第一報通知実現 ・攻撃関連通信に対するMITIによる脅威監視の実現	24時間365日の監視体制構築 【平成29年3月31日時点】	A	A	A				A
情報システム研究 機構 国立情報学研究所	国際連携拠点DBJの強化による大規模な共同利用基盤の整備拡充 (H28～)	総合サイバーセキュリティ人材の育成者数(研究基盤の利用法についての講習会の開催状況など)	50	平成27年度末	未実施	平成33年度末	100人	82人 【平成29年3月31日時点】	A	A	A				
		遠伝研サーバーコンピュータの利用登録者数の増加状況	50	平成27年度末	2393人	平成33年度末	2633人	2946人	A	A	A				
情報システム研究 機構 国立情報学研究所	研究IRV実現のための関連施策パッケージ (H29～)	国際DNA塩基配列データベースが公開されているDDBIホームページの利用者数(月間ユニークユーザー数)の増加状況	30	平成27年平均	18376人	平成33年平均	20214人	22206人	A	A	A				A
		データベースやゲノム解析共同利用基盤の利用法についての講習会の開催回数	20	平成27年度	2回	平成29年度以降、毎年	3回	3回	A	A	A				
情報システム研究 機構 国立情報学研究所	研究IRV実現のための関連施策パッケージ (H29～)	・大学に専任研究員としてresearchmapに登録されている研究者の数の増加 ・DOIが付与された論文の増加 ・競争的資金獲得研究項目に関して、本人が査読90%以上特許する採択を閉発。採択には本人が査読90%以上特許できるユーザーエージェントを開発。(平成31年度完了)	20	平成28年度末	未実施	平成31年度末	平成31年度末までに開発完了	ユーザーエージェントの設計 【平成29年7月31日時点】	A	B	B				
		・researchmapに登録されていない研究者であっても過去に採択を獲得している大学研究者の95%以上を補完し、そこに研究業績を本人特定し、付与する技術開発。(平成32年度完了)	10	平成28年度末	未実施	平成32年度末	平成32年度末までに開発完了	本人性を90%以上特定する技術の開発 【平成29年7月31日時点】	A	B	B				
情報システム研究 機構 国立情報学研究所	研究IRV実現のための関連施策パッケージ (H29～)	・新指標の提案並びに大学・機関による新指標の予備的な検証(平成31年度完了)	15	平成28年度末	未実施	平成31年度末	平成31年度末までに5件以上の大学・機関による検証完了	新指標の候補の検証並びに大学・機関による検証 【平成29年7月31日時点】	A	B	B	A			
		・新指標ツールの裏技と検証並びに大学・機関による新指標の検証の完了(平成32年度完了)	10	平成28年度末	未実施	平成32年度末	平成32年度末までに裏技と20件以上の大学・機関による検証完了	ツールの裏技に合わせたシステムの設計とプロトタイプの実施 【平成29年7月31日時点】	A	B	B	A			
情報システム研究 機構 国立情報学研究所	研究IRV実現のための関連施策パッケージ (H29～)	・研究活動連携(連携付き国際論文、競争的資金獲得等)がある特任研究員も含め、びい連携での大学に所属する研究者の89%を補完。(平成33年度完了)	10	平成28年度末	未実施	平成33年度末	平成33年度末までに対象研究者の85%の補完完了	本人性を90%以上特定する技術の開発 【平成29年7月31日時点】	A	B	B				
		○「大学全体の研究活動を支える研究環境基盤を効果的・効率的に構築・提供」する取組に関する指標 ・機構が提供する研究基盤の構築・運営状況(利用人数、利用機関数、年間稼働時間ジョブ数、学術資料・研究資料の収集数・提供数、データベースの構築・運用状況(データベース数やデータベースへのアクセス数)、当該研究基盤によって得られる効率化の状況、当該研究基盤を活用した研究成果数、研究基盤の利用法についての講習会の開催状況など) ・researchmapの登録者数及び登録業績数	20	平成28年6月1日	登録者数: 253,416人 登録業績数: 17,079,414件	平成33年度末	登録者数: 260,668人 登録業績数: 17,699,650件 【平成29年7月31日時点】	A	B	B					
情報システム研究 機構 国立情報学研究所	研究IRV実現のための関連施策パッケージ (H29～)	○「大学全体の研究活動を支える研究環境基盤を効果的・効率的に構築・提供」する取組に関する指標 ・機構が提供する研究基盤の構築・運営状況(利用人数、利用機関数、年間稼働時間ジョブ数、学術資料・研究資料の収集数・提供数、データベースの構築・運用状況(データベース数やデータベースへのアクセス数)、当該研究基盤を活用した研究成果数、研究基盤の利用法についての講習会の開催状況など) ・researchmapが提供するAPIを取得し、大学の機能強化に利用する大学等研究機関数	15	平成28年6月8日	90大学等研究機関	平成33年度末	300大学等研究機関	107大学等研究機関 【平成29年7月31日時点】	A	A	A				

評価結果一覧(新規専業・組織整備)

事業実施主体	取組名	評価指標	基準時点	基準値	目標時点	目標値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果			
自然科学研究機構 岡崎3研究所・新分野創成センター	次世代の生命科学研究を牽引する革新的 共同利用・共同研究拠点の形成	多様な研究領域を包括したコミュニティに向けての研究開発成果の発信状況(分野横断型の研究会累計開催回数) 多様な研究領域を包括したコミュニティに向けての研究開発成果の発信状況(共同利用・共同研究による学会・論文累計発表数) 国内・海外の多様な大学・コミュニティに開かれた共同利用・共同研究の推進状況(共同研究・共同研究累計実施数) 国内・海外の多様な大学・コミュニティに開かれた共同利用・共同研究の推進状況(生命創成探究連携班(仮称)の設置研究部門数) 極限生命探査室(仮称)における連携研究課題実施数 大学の枠を超えた人材や資材活用のネットワーク形成状況(生命創成探究センター(仮称)における外部機関からの教員受入累計数) 大学の枠を超えた人材や資材活用のネットワーク形成状況(他大学等への教員派遣累計数) 異分野融合・新分野創成を推進するための、組織の枠を超えた実効的な体制の整備・運用状況(萌芽的研究の発掘のための研究会累計開催回数) 異分野融合・新分野創成を推進するための、組織の枠を超えた実効的な体制の整備・運用状況(若手研究者養成のための国際的な若手啓発事業累計開催回数)	平成28年度末	0回	平成33年度末	4回	A	A	A	A						
			平成28年度末	8件/年	平成33年度末	76件	A	A	A							
			平成28年度末	5件/年	平成33年度末	38件	A	A	A	A						
			平成28年度末	1研究部門	平成33年度末	2研究部門	A	A	A	A						
			平成28年度末	0課題	平成33年度末	3課題	A	A	A	A						
			平成28年度末	2人	平成33年度末	3人	A	A	A	A						
			平成28年度末	3人/年	平成33年度末	12人	A	A	A	A						
			平成28年度末	0回	平成33年度末	15回	A	A	A	A						
			平成28年度末	1回/年	平成33年度末	4回	A	A	A	A						

評価結果一覧(新規事業・重点支援②)

事業実施主体	取地名	評価指標	基準時点	基準値	目標時点	目標値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果
人間文化研究機構 国際日本文化研究センター	国際日本研究コンソーシアムによる国内外研究機関の連携構築	大学等研究機関との学術交流協定の締結	平成29年度末	一部実施 (1機関)	平成33年度末	5機関	A	A	A	A			
		国際共同ワークショップの開催	平成29年度末	一部実施 (1回)	平成33年度末	4回	A	A	A	A			
		国際共同ワークショップ等の成果の提供	平成29年度末	未実施	平成33年度末	30機関	A	A	A	A			
		国外の日本研究に関する学会への参加・発表	平成29年度末	一部実施 (1件)	平成33年度末	4件	A	A	A	A			
		コンソーシアム所属の大学院生による国外の日本研究に関する学会等への参加・発表	平成29年度末	一部実施 (4名)	平成33年度末	20名	A	A	A	A			
		コンソーシアムによる共同研究の実施	平成29年度末	未実施	平成33年度末	3件	A	A	A	A			
		コンソーシアム所属の研究者の共同研究への参加	平成29年度末	未実施	平成33年度末	20名	A	A	A	A			
		人材育成プログラム参加者数	平成30年度当初	0人	平成33年度末	累計400人以上の参加者	A	A	A	A			
		人材育成プログラム参加者によるプログラムの内容に関連した成果の発表数	平成30年度当初	0件	平成33年度末	累計150件以上の研究発表	A	A	A	A			
		教育用加速器の整備・教育への提供状況	平成30年度当初	教育用加速器の整備開始	平成32年度末	教育用加速器の整備完了	A	A	A	A			
高エネルギー加速器 研究機構	大学加速器連携ネットワークによる人材育成プログラム			教育用加速器の整備開始	平成33年度内	教育への供用開始	A	A	A	A	A	A	A

評価結果一覧(新規事業・重点支援③)

事業実施主体	取地名	評価指標	基準時点	基準値	目標時点	目標値	評価項目①	評価項目②	評価項目③	評価項目④	評価項目⑤	評価項目⑥	評価結果
高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所	素粒子原子核宇宙シミュレーションプログラム	共同利用による研究成果	平成29年度末	論文数0	平成33年度末	論文数20	A	A	A	A	A	A	A
		理論・実験連携の実施状況	平成29年度末	実施なし	平成33年度末	連携的研究・事業4件	A	A	A	A	A	A	A
		国際共同研究の実施状況	平成29年度末	実施なし	平成33年度末	国際共同研究5件	A	A	A	A	A	A	A
		評価委員会の実施状況	平成29年度末	実施なし	平成31年度末	実施あり	A	A	A	A	A	A	A
		国際連携の状況(外国人研究者の利用状況)	平成28年度末 (平成28年度末までの年間平均利用数)	10人日	平成33年度末 (第3期中期目標・中期計画終了時)	80人日	A	A	A	A	A	A	A
		国際連携の状況(国際共同観測件数)	平成28年度末 (平成28年度末までの年間平均利用数)	10件	平成33年度末 (第3期中期目標・中期計画終了時)	60件	A	A	A	A	A	A	A
		観測機器稼働率	平成28年度末	80% (平成28年度実績)	平成33年度末 (第3期中期目標・中期計画終了時)	90%	A	A	A	A	A	A	A
		共同利用・共同研究者数	平成28年度末 (平成28年度末までの年間平均数)	330人日 (実人数30人)	平成33年度末 (第3期中期目標・中期計画終了時)	1,600人日 (実人数140人)	A	A	A	A	A	A	A
		共同利用・共同研究成果(論文数、論文被引用数、図書、学術発表等)	平成28年度末 (平成28年度末までの年間平均数)	10件	平成33年度末 (第3期中期目標・中期計画終了時)	論文等発表件数44件	A	A	A	A	A	A	A
		ユーザーサイトから見た有益度合い	平成28年度末	未実施	平成33年度末 (第3期中期目標・中期計画終了時)	90%	A	A	A	A	A	A	A
情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所	マイクロバイオーム研究支援基盤強化促進事業	共同利用・共同研究にかかる情報提供・発信状況	平成28年度末	ホームページ年間アクセス件数1,500件 (平成28年度実績)	平成33年度末 (第3期中期目標・中期計画終了時)	ホームページ年間アクセス件数2,000件	A	A	A	A	A	A	A
		支援した課題数	平成29年度(6月)	2	平成33年度末	累計支援課題数16	A	A	A	A	A	A	A
		微生物結合DBならびにDDB/J公共DBに収録される、解析サンプルデータ数の状況	平成29年度(6月)	16	平成33年度末	累計サンプル数160	A	A	A	A	A	A	A
		共同研究に参加した大学研究者・学生が、共同利用・共同研究によって得られた多様な研究成果(論文数、論文の被引用数、図書、学術発表)の状況	平成29年度(6月)	0	平成33年度末	累計原著論文6報	A	A	A	A	A	A	A